



## プロフィール

昭和33年12月20日 館林市裏宿(現大手町)生まれ。  
館林市立第三小学校、館林市立第二中学校、  
県立館林高校、早稲田大学卒業。

## 主な経歴

平成18年館林市議会議員初当選(平成29年まで3期)  
市民福祉常任委員会委員長、館林観光協会理事、  
両毛六市議員懇談会会長、地方創生研究会会長  
平成28年館林市議会副議長(平成29年4月まで)  
平成29年群馬県議会議員初当選  
平成30年文教警察常任委員会副委員長  
令和元年産経土木常任委員会副委員長  
令和元年まちづくり戦略特別委員会副委員長

## 社会奉仕

「ことばの指導教室」にかかわる検討委員、保護司、防災士

## 《 ご挨拶 》

日頃より大変お世話になっております。皆様方には  
ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症により、私たち  
の日常は大きく変容させられてしまい、変異株の拡大  
の不安の中、第4波とも言われる状況が忍び寄ってき  
ております。この様な情勢の中、日々それぞれの現場  
にて御尽力いただいている総ての皆様方に、改めて敬  
意と感謝を申し上げます。

さて、去る2月17日に開会しました令和3年第1回  
定例会は、令和3年度の予算編成の審議をはじめ、新型

コロナウイルス対策関連の補正予算等、多くの案件を  
議決して3月19日に閉会いたしました。今回の県政  
レポート「WITH」では、令和2年度の活動の一部を  
アルバムという形でご報告すると共に、今回で5回目  
となる一般質問で取り上げました質問要旨を記載いた  
しました。県執行部からの答弁は近々に発行予定の県政  
レポートにて取りまとめさせていただきます。

## 現在所属の委員会及び役職

- ◆環境農林常任委員会 委員長
- ◆外国人との共生・共創に関する特別委員会 委員
- ◆議会運営委員会 委員
- ◆議会基本条例推進委員会 副委員長  
※同委員会内におけるICT化プロジェクトチーム座長  
(ペーパレス等)
- ◆自民党県議団副団長
- ◆ベトナム友好議員連盟 事務局長
- ◆群馬交響楽団支援議員団 事務局長

## 令和3年第1回定例会の主な内容

1. 令和3年度一般会計当初予算 7,650億7,700万円
2. 営業時間短縮要請の変調に係る一般会計補正予算  
2億3,600万円
3. 新・群馬県総合計画(基本計画)
4. 群馬県多文化共生・共創推進条例
5. 群馬県犯罪被害者等支援条例
6. 群馬県虐待から子どもの生命と権利を県民全体で守  
る条例  
その他、知事から提出された103議案は全て可決・承  
認・同意されました。  
また、委員会から発議された5議案は、いずれも可決  
されました。

# 泉沢しんや 活動アルバム



5月 第2回定例会 一般質問  
地熱エネルギーについて



7月 東洋大学板倉キャンパス移転に関する  
理事長との協議(東洋大学本部にて)



8月 議会のICT化に向けて  
オンライン会議の実証実験



8月 環境農林部会政調会の  
部会長として座長を務める



8月 ブランドニジマス  
「ギンヒカリ」養魚場視察



9月 CSF(豚熱)対策本部  
委員長として会議に臨む



10月 代表県議団としてCSF(豚熱)対策  
の意見書を国へ提出



11月 ICT化プロジェクト  
チーム座長としてアプリ  
ケーション検討会議



12月 CSF(豚熱)対策の提言書を  
正副議長と共に知事に提出



12月 群馬県林業試験所を視察(県産材  
の耐久試験中)



令和3年3月 若者の政治への関心を高める活動（シチズンシップ・アカデミー）として、初めての試みとなるオンラインでリモートによる県内の大学生との意見交換

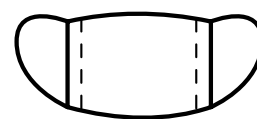


リモート意見交換後の群馬テレビからのインタビュー

## 令和3年第1回定例会での一般質問内容

### 1.小中学校及び高校における新型コロナウイルス感染防止対応について

- (1) 小中学校及び高校における新型コロナウイルス感染者数の現状について問う。
- (2) 学校内での感染発覚時の対応として、保健所との連携や校内での周知や注意喚起のあり方について問う。
- (3) 教員の精神的負担軽減のためにも、学校内での対応マニュアルの重要性を感じている。現在の状況を問う。
- (4) 私立学校における対応について問う。
- (5) 危機管理の徹底という観点から、県内すべての保健所の判断や認識には、ある一定の統一的な基準が必要だと思う。報道等への情報提供も含め、公表の考え方や県としてのガイドラインについて問う。



### 2.新型コロナウイルス感染防止における若者への啓発

- (1) 当初、「若者は感染し難い」「感染しても軽症」などの報道により、30代より若い層の警戒感が希薄であったと感じる。群馬県において若者の感染状況はどのような傾向にあるか問う。
- (2) 若者こそ感染に注意を払うとともに、完治後も諸々の変調をきたすことがあることを認識し、後遺症的な症状を的確に知る必要があると思うが、このような視点からの啓発・注意喚起の方策はどのように行われ、またどんな状況にあるかを問う。

### 3.群馬県緑化センター並びに附属見本園について

- (1) 当該施設が県有施設のあり方見直しに上がっているが、昭和58年開園当初の目的を確認するとともに、現状と代替え施設との整合性を問う。
- (2) 地元の植物学の専門家や県内造園関係者並びに県内外からの一般来園者の方々からの意見を、どのように捉えているのかを問う。

### 4.新年度における特定外来生物クビアカツヤカミキリ総合対策について

- (1) 主にサクラへの被害防止対策として、本年度初夏から「侵入防止エリア」を設定したが、その効果と現況について問う。
- (2) クビアカツヤカミキリの生息地が拡大し、昨年夏には3年前から心配をしていた東毛地域以外の「果樹園での発生」に至ってしまった。被害の状況を問う。
- (3) しっかりとした防除・駆除対策がなければ、今後も桜の被害は元より、果樹栽培農家に甚大な被害を与えかねないが、新年度からの抜本的な対策や薬剤の研究の現状を問う。



### 5.内水面漁業に係る流通について

- (1) ギンヒカリのような付加価値の高い魚類を「ぐんまブランド」として県外に発信していくための第一の課題は、県内での認知度の向上がまずは必要だと考えている。重ねて、生産者
- を守り支援するために、コロナ禍の経験も活かしながら、危機管理の観点からも想定外の事態を克服できる県内流通網並びに販売網を確立すべきと思っているが県の考え方を問う。

### 6.県内におけるボート競技振興と競技環境整備について

- (1) かつては本県のボート競技はオリンピックで活躍した選手を育てており、1983年(あかぎ国体)を機に、館林高校・館林女子高校の両校部活OBからは世界で戦える選手を輩出してきた。ボート
- 競技は世界レベルにチャレンジできる競技の一つであると認識している。そこで来る「ぐんま国体」に向けて選手の育成や競技振興等について問う。

### 7.館林における都市計画道路 中央通り線の進捗状況について

- (1) 当該事業は、県土整備プラン2020において、令和9年度完成から令和11年度完成へと期間延長
- となった。用地交渉等は順調に進んでいると思うが、現在の進捗状況と今後の課題等を問う。



#### 群馬県議会議員「泉沢しんや事務所」

〒374-0023 館林市大手町4-22

開所時間: AM 10:00 ~ PM 4:00 (休: 土・日・祭日・お盆・正月)

Tel& Fax **0276-73-7338**

E-mail: shinya-iz330@cc9.ne.jp

